

じぶんの町を良くするしくみ。



赤い羽根共同募金とは？

【共同募金のしくみ】

「赤い羽根共同募金のことを全く知らない」という人はほとんどいません。また、「赤い羽根」は俳句の季語にもなっているように人々の間に浸透しています。でも、共同募金の仕組みや特徴をきちんと把握しているか、というと「？」マークが点滅しそうですね。そこで、共同募金のしくみを整理することにしましょう！

■赤い羽根共同募金は1947（昭和22）年から

日本で赤い羽根共同募金が始まったのは、1947（昭和22）年のことです。その当時は、第2次世界大戦が終わったばかりで、家を焼かれたり、お父さんお母さんがけがをしたり亡くなったりした子どもたちがたくさんいました。そこで、困っている人たちのために、みんなで助け合っていこうと、赤い羽根共同募金が日本中で行われました。

■都道府県を単位に実施

赤い羽根共同募金は、都道府県を単位として行われています。各都道府県にお寄せいただいた寄付金は、都道府県ごとに配分委員会の審査を経て都道府県内の福祉施設・団体の活動に役立てられます。

■期間は10月から12月の3か月間

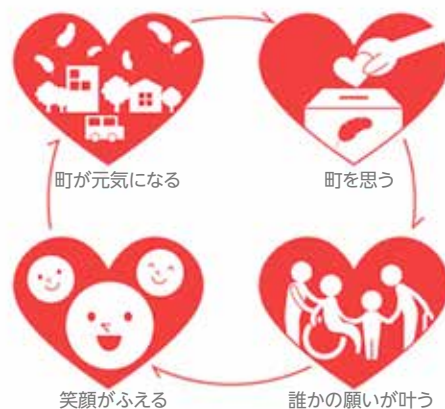
毎年10月1日から12月31日までの3か月間、日本中で赤い羽根共同募金が行われています。学校やまちなど、いろいろな場所で募金が行われています。

■誰にでもできるボランティア

赤い羽根共同募金は、たくさんのボランティアの人たちが支えています。募金を呼びかける人も、募金に協力する人も、みんなボランティアです。

■身近で生きる募金

みなさんのあたたかい心がこめられた募金は、お年寄りや体の不自由な人、子どもたちなどのために役立てられます。例えば、体の不自由な人をお世話したり、子ども達のための遊具の購入などに役立てられます。また、地域で安心して暮らすための福祉のまちづくりの活動にも役立てられています。



【共同募金に参加する方法】

■寄付者として募金に参加

- ・街頭募金（駅前やショッピングセンター前などで募金を呼びかけます）
- ・戸別募金（みなさんの家庭から協力してもらう方法です）
- ・職域・法人募金（会社で働いている人たちが寄付します）
- ・学校募金（学校で児童生徒に協力してもらう方法です）
- ・イベント募金（地域の福祉祭りなどのイベントで募金を呼びかけます）
- ・ネット募金（ホームページ上から申込み、コンビニ等で寄付する方法です） など、いろいろな方法で募金の呼びかけを行っています。それぞれの生活パターンに合わせて募金にご協力ください。



■募金ボランティアとして参加

近くの商店街やスーパーなど人の集まる場所で募金箱を持って協力を呼びかけます。その他、学校では登校、下校時に校門前や玄関前などで児童生徒に募金の協力を呼びかけます。

【街頭募金の実施】

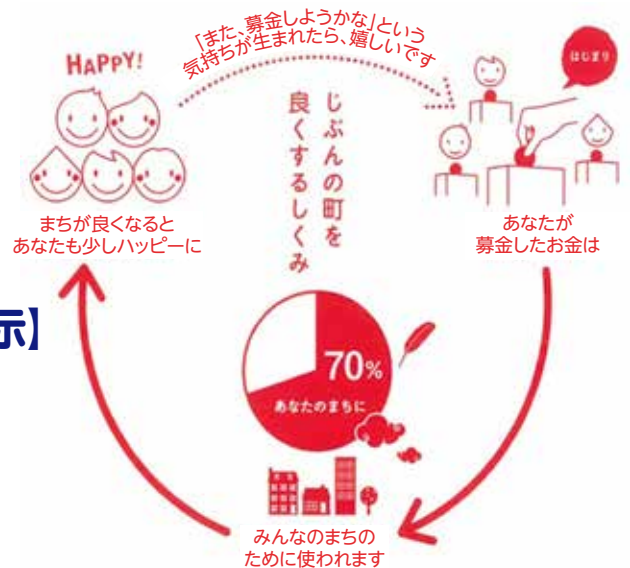
毎年、赤い羽根共同募金の啓蒙・啓発のために街頭募金を行っています。

今年度は下記の日程で実施します。

日 程 10月 1日（火）

10月 6日（日）

場 所 尾張一宮駅前ビル、名鉄一宮駅前
市内ショッピングセンターなど



【児童生徒作品コンクール入賞作品展示】

夏休みに応募いただいた作品のうち、入賞した作品を「福祉とボランティア活動展」内で展示します。

日 程 10月19日（土） 13:00～16:00

10月20日（日） 10:00～15:30

場 所 一宮スポーツ文化センター 1階

ガチャガチャ募金箱の設置

10月19日（土）・20日（日）に開催する「福祉とボランティア活動展」において、イベント期間中、会場にガチャガチャ募金箱を設置します。

初音ミクや戦国BASARA4とのコラボグッズが当たるかも。ぜひご来場ください!!

赤い羽根共同募金

10月1日(火)～12月31日(火) <http://www.akaihane.or.jp/>



一宮市共同募金委員会目標額

44,900,000円

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。